

この「ゆいわ」には、学校に関わる全ての人々を結びつけ、大きな輪として地域のつながりをつくっていききたいという思いがこめられています。

ゆいわ (結輪)

学校評価について議論しました。

R2児童生徒アンケート集計結果 (全校) 1学期		全校	前年度
地域や人々をつなぐ(交流・協力・あいさつ)			
	1 自分から地域の人や先生・学園生に元気にあいさつをしている。	84%	81%
	2 協力し合って行動しようとしている。	83%	81%
	3 地域の行事に関心をもち参加するなど地域の人とすすんで交流している。	89%	83%
学びをつなぐ			
	1 勉強や運動、学校行事などに意欲的に取り組み、一人ひとりが自分の力を精一杯発揮しようとしている。	80%	79%
	2 意見を言ったりでき、みんなで話し合うことができる。	87%	84%
	3 勉強の教え合いや競い合いなど、互いに高め合っている。	89%	87%
	4 将来になりたい、やってみたい仕事や夢がある。	89%	82%
仲間をつなぐ			
	1 悪口を言ったり、仲間はずれをするなど、人のいやがることをしていない。	82%	80%
	2 上学年・下学年関係なく仲がよく、友達思いである。	88%	86%
	3 学級の特徴があり一人一人の個性が生きるびのびした雰囲気がある。	92%	87%
	4 自分は、他の人の役に立っている。	88%	88%
マナー・ルールについて			
	1 正しい敬語を使うなど、場にあったふさわしい話し方ができる。	90%	90%
	2 校則を守り、時間を守って行動している。	80%	77%
	3 気持ちよく生活できるよう整理整頓を心がけている。	88%	86%
	4 そうじの時間は、熱心にそうじに取り組んでいる。	85%	85%

地域でもあいさつはしっかりしてくれています。とてもすばらしいと感じています。今後も学校運営協議会としても取り組んでいきたいと思っています。

高い数値が出ているのは、よごふるさと科の取り組みの成果だと思いましたが、いかがですか？

課題解決のための学びもよごふるさと科にはあります。これからも地域の人たちのご協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。

全校で、いじめのない学校、いじめを許さない学校についてしっかりと取り組まれているように思います。ネット上のいじめ等に対する具体的な取り組みは何かありますか？

PTAと連携し、親子でSNSに関する研修を実施しました。親子で同じ話を聞くことで、家庭での理解が深まったと思います。

学習参観に伺いましたが、休み時間が短いように感じました。子どもたちの様子はどうですか？

今年度より、午後の休み時間を長くとれるように工夫しました。これにより運動場で遊ぶ姿も多くみられるようになってきました。

8月28日に第3回の学校運営協議会を開催しました。

今回は、1学期末に実施した学園生と保護者の学校評価*の結果についての議論を行いました。

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。



そらめ

学校評価については、学校教育法に次のように規定されています。

○学校教育法 第42条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。



8/28の会議の様子

学校運営協議会のみなさんからはこんなご意見、ご質問をいただきました。

R2保護者アンケート集計結果 (全校) 1学期			
学校生活全般について (%)		全校	前年 全校
1	自分の子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている。	75%	73%
2	自分の子どもは、将来の夢や希望をもっている。	80%	79%
3	自分の子どもは、規則正しい生活の習慣が身に付いている。	71%	70%
4	自分の子どもは、あいさつ・返事がよくできている。	77%	71%
5	自分の子どもは、学校でのできごとをよく話してくれる。	72%	73%
6	家庭では、子どもとコミュニケーションをとるようにしている。	75%	74%
7	家庭では、ゲーム・スマホについて、ルールを決めている。	83%	83%
8	家庭では、「早寝・早起き・朝ご飯」についてとりくんでいる。	68%	64%
9	家庭では、地域の行事に積極的に参加するようにしている。	78%	74%
10	学校は、学校だよりやホームページ等で教育方針や教育活動をわかりやすく伝えている。	80%	78%
11	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	75%	76%
12	学校は、日常生活における子どもへの支援や指導を適切に行っている。	76%	72%
13	学校は、学力の向上を目指し、わかりやすく丁寧な授業を行っている。	81%	78%
14	学校は、学級懇談会や面談・学年だより等で、学年の様子をわかりやすく伝えている。	81%	77%
15	学校は、保護者からの連絡・相談に対し、適切に対応している。	79%	80%
16	学校は、施設・設備をよく整備・管理し、安心・安全な教育環境を整えている。	82%	82%

休校中の取り組みについてご苦労されていると思いますが、再開後、子どもの様子に変化は見られましたか？

3か月にわたる休校で、一番感じたのはあいさつの声が出なくなったということです。次に体力が落ちているということ。家の中で過ごすことが多かったからでしょうか。またゲームの時間がさらに長くなっていることが気になります。

給食のメニューについて、多くの保護者からどうなっているの？栄養が足りているのかなどのお話をよく聞きますが実態はどうなのでしょう？

学校給食については、教育委員会が感染予防対策で「ワンプレート」方式での給食を決定し、提供されています。9月からは、感染症対策をしっかりとしながら、通常メニューへと変更されています。

保護者の意見として、「8,9年の担任について説明がないのが不満。」「受験を控えているのにおかしい。子どももいろんなことについて、誰に相談すればよいのか困っている。」「複数担任制のメリットがわかりづらい。」などの声を聞いたが、複数担任制のメリット、またそれをどのように伝えたのか教えてほしい。

今年度はPTA総会等保護者の皆様に説明する機会がなく、学校報No.1裏面にて書面での説明をさせていただきました。しかし、十分に伝わっていませんと反省しています。この複数担任制については、少人数の同じ集団で9年間を過ごす本校の子どもたちの課題を鑑み、「新たな人間関係を自ら築き、自分らしさを発揮しながら生きる力を育む」ために、8,9年生の交流、また複数の学級担任との関わりを通して、子どもたちが多角的な視野をもって、多くの新たな人間関係を築けるよう実施しています。どの学級担任に相談してもよいのがメリットで、誰に相談するかを自分で決めてほしいのです。もちろん進路については、進路主任が窓口です。そして進路の実現については複数の学級担任が協力して責任をもって指導・助言していきますので、どうかご安心ください。

休校中も様々な動画配信やインターネットを使った先進的な取り組みを進めてこられたように伺っています。これからの取り組みについて教えてください。

家庭環境のICTに関する調査を改めて実施しました。これを受けて様々な機会を使いながら取り組んでいきます。特に、次年度からは、市内全ての学校の2年生以上にタブレットが整備されます。新たな活用も含めて学習に活かしていきたいと考えます。

学校評価をもとにワークショップも行いました。次回お伝えします。



Youtubeにそらめチャンネルが開設されました！よごふるさと科の取り組みで、学校運営協議会も協力しています。